

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
1 いなべ市	対談項目1 若者の創業によるにぎわいのあるまちづくりについて	<p>市の庁舎を建てる予定ですが、その敷地の一部に、“にぎわいの森”という商業施設を建て、人気のフランス菓子店などに来てもらう計画です。以前オーナーさんに地元農家を回っていただいたところ、一流の方が探していた食材がいなべで見つかったりして、マッチングが生まれることで自信を持たれる農家の方も多数みえたので、そういうことを広めていけたらという取組です。</p> <p>若い方がたくさんいなべ市に来てくれて、いろいろな取組をしてくれています。そういった若者が自分たちの発想で動き、活躍できるような場づくりと、地元との信頼関係を作っていくことが大切だと思っています。</p> <p>まちづくりには、アドバイザーなどいかに優秀な人材に来ていただけるかが重要で、そういったことのコーディネイトがこれまでは不足していました。4年前から取り組んできて、寺園さんたちが橋渡しや情報発信をしてくれることで、その輪がどんどん広がっています。</p> <p>交流・移住促進については、いなべの自然や、農、食、アウトドアなどに関心のある人にターゲットを絞って、いなべを好きになっていただける方に来ていただければと考えています。</p> <p>フェアトレードシティというものがあり、手を挙げたいと思っています。オーガニックのフェアトレードのお店を市内に一定量増やすなどしてシティ宣言し、そういうことで発信できたらと思っています。</p>	<p>いなべ市は、地域おこし協力隊員が県内で一番多く、そういう人材が積極的に活用されており、また、人を呼び込むための情報発信について非常にオリジナリティーの高い取組をされています。</p> <p>子育て世代などが移住の重要ターゲットのひとつとなっている中、絵本仕立ての移住パンフレット「いなべに住もに」や、移住専門誌「TURNS」を活用した体験ツアーなどターゲットに合わせた発信を行っていると思います。本当にニーズのある人に、個々の深い情報をしっかり提供することが必要で、こういう人に来てもらう、という形の情報発信は非常にオリジナリティーが高いので、12月に東京で開催する将来世代応援知事同盟による移住フェアなどでも、みなさんの取組を紹介していきたいと思っています。</p> <p>利用など考えもしなかった物が、一流の人から価値を見出されることを如実に目の前で見た経験から、一流の人との出会いなどで目線が変わったりする出会いの場づくりを、行政や、或いは、ネットワークを持っている皆さんが協力して行うことは大変重要なことだと思います。</p> <p>新たな繋がりが極めて重要になってきている中で、人と人が繋がる場が、この阿下喜にたくさん出来てきていることを改めて感じ、すごくいいことだと感じました。</p>